

2024年5月29日

学校法人三幸学園
千葉ビューティー&ブライダル専門学校
校長 高橋 一博 殿

学校関係者評価委員会
委員長 小室 奈央

学校関係者評価委員会実施報告

2023年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 林 一馬（全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス 所長）
- ② 長谷部 有花（2023年度 卒業生）
- ③ 小室 奈緒（飛鳥未来高等学校 千葉キャンパス 教頭）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2024年5月29日

（会場 千葉ビューティー&ブライダル専門学校 1号館 7F ビューティースタジオ）

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2023年度 学校法人 三幸学園 千葉ビューティー＆ブライダル専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 高岡 利和

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 小室 奈緒

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

また、千葉校としては退学率の低減をはじめ、生徒の成長実感、卒業生の満足度をあげ「千葉県地域NO.1」の美容専門学校を目指す。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- ・オンデマンド授業を取り入れる等、通常授業での工夫を行い生徒の学習意欲を向上させた。
- ・チーム担任制を活かした生徒指導や面談の実施。
- ・産学連携やボランティア活動の機会を増やす。

② 学校関係者評価委員会コメント

特になし

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・以前に比べたら浸透はしているが、今以上に「教育理念」「目指す人物像」の浸透が必要と思われる。

② 今後の改善方策

- ・スタートアッププログラムやホームルームでさらなる浸透を図る。
- ・全体会議や研修などで教職員への浸透を図る。

③ 特記事項

- ・生徒、教職員全員に浸透を図る。
- ・引き続き「あきらめない教育」の配布及び研修の実施。

④ 学校関係者評価委員会コメント

【長谷部委員】

教育理念について在学中、あまり意識する機会がなかったと感じる。
自ら考えて行動することも足りなかったと思う。(ブライダルプロデュース科)

【小室委員】

高等学校でも、教育理念を在校生に浸透させるのを難しく感じている。(ブライダルプロデュース科)

【林委員】

学校生活すべてが教育理念に紐づいているはずなので、授業内でも触れる機会があるといいのではないかと感じている。
理念というと生徒はととても難しく感じる。(ブライダルプロデュース科)

(2) 学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・情報共有のスピード化。
- ・残業時間。

② 今後の改善方策

- ・SankoGate や Teams のさらなる活用。
- ・月の残業時間目標を設定し、各自管理を行う。
- ・OJT 指導者による残業時間の把握。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント**【小室委員】**

飛鳥未来高等学校では、Teams や Google クラウドルームを使用して情報共有している。

残業時間に関しては時期によって多くなるため、チームで協力、運営できるか検討中。

（ブライダルプロデュース科）

【林委員】

ウェディング分野に関しては、提携先との情報共有がとても重要になってくる。

学校では、担任の先生と講師の先生との情報共有が大変そうに感じる。

勤務時間に関してブライダル業界は、コロナ渦を経て土日の打合せが平日オンラインで実施することが増えた。お客様も家にいながら、打合せが出来るメリットを感じていると思われる。

（ブライダルプロデュース科）

【長谷部委員】

結婚式列席のヘアメイクとしてはシステム化による効率化ではなかったが、予約の件は、プランナーへの伝達メモを残したり、社内でメモを残してスピーディーに対応している。（ブライダルプロデュース科）

(3) 教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員的能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・学校外部関係者とのつながり。
- ・各授業の難易度低減。
- ・各授業の将来への必要性。
- ・生徒が満足する授業展開。

② 今後の改善方策

- ・学校外部関係者の方から評価及びアドバイスを頂く。
- ・価値のある授業展開を行う。
- ・授業見学 WEEK 期間以外にも積極的な授業見学を行う。
- ・授業アンケートの結果をもとに授業内容検討。
- ・定期的な教科会の実施し、教員同士の連携。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【長谷部委員】

未来デザインプログラムの授業は、在学中に必要性を感じないと言っているクラスメイトもいたが、社会に出たときにこの授業の大切さが凄くわかったので、在校生にはしっかりと授業を受けてほしい。

国家試験に出題されない教科もあるが、 unnecessaryな授業は一切なかった。(ブライダルプロデュース科)

【小室委員】

飛鳥未来高等学校では、卒業資格を取ることが大きなゴールとなっている。

「卒業＝すべてのカリキュラムを網羅」という証になるから苦手意識がある授業でも頑張ってほしい。

(ブライダルプロデュース科)

【林委員】

千葉ビューティー & ブライダル専門学校では、カリキュラムを常にアップデートしているので、特に問題ないと思うが、教員の伝え方が大切。

(ブライダルプロデュース科)

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・退学者低減。
- ・卒業生の近況状況把握。

② 今後の改善方策

- ・チーム担任による生徒指導。
- ・チーム担任間の情報共有。
- ・担任会議での情報共有。
- ・心理テストの活用。
- ・就職先との連携。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント**【小室委員】**

退学に関しては高等学校も大きな課題である。
 心境の変化を早期に発見できるよういろいろな角度から見てあげる必要がある。
 様々な取り組みを継続してほしい。 (ブライダルプロデュース科)

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・課外活動体制。
- ・保護者との連携。
- ・卒業生及び就職先との連携。
- ・退学者支援不足。
- ・チーム担任と教科担当者との連携。

② 今後の改善方策

- ・課外活動の体制を整える。
- ・保護者への密な連絡、相談及び協力を促す。
- ・卒業生及び退学者への支援体制。
- ・高等学校との連携。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【長谷部委員】

カリキュラムに有給インターンシップがあるが、距離的に自宅から通えない、希望職種ではなかったので実施しないクラスメイトがいた。

インターンシップの選択肢がより多いと良い。 （ブライダルプロデュース科）

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

- ・安全管理体制の浸透。

② 今後の改善方策

- ・ホームルームでの避難場所確認。
- ・ホームルームでの危機管理マニュアル周知。

③ 特記事項

- ・避難訓練を実施。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・入学後をイメージできる広報活動。
- ・VR 授業などの浸透を広報活動で伝える。
- ・オンライン、オンデマンド授業の浸透を広報活動で伝える。

② 今後の改善方策

- ・デジタルテキスト、VR を活用した授業の存在を広報活動にて適正に伝える。
- ・オンライン、オンデマンド授業を実施していることの存在を広報活動にて適正に伝える。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・法令順守を引き続き行う。

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・産学連携やボランティアによって地域貢献の経験ができる機会の提供。

② 今後の改善方策

・各企業や地域とのつながりを深める。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【長谷部委員】

在学中、トータルビューティー科で行っている生徒が多くいたが、技術に自信がなく参加しなかった。

（ブライダルプロデュース科）

【小室委員】

機会があれば生徒にいろいろなチャンスの場を提供してあげる必要がある。

（ブライダルプロデュース科）

【林委員】

ボランティアとなるとスケールが大きく、何が目的なのかが分からないのではないかと。しっかりと目的を伝えてあげることが必要。

（ブライダルプロデュース科）

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

・現在、留学生の入学者がいない。

② 今後の改善方策

・入学希望者への適切な広報活動。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【長谷部委員】

在学中は、無駄なことはひとつもく、授業はもちろん行事もその時は必要ないかとも思っても絶対に真剣に取り組むべきだと感じている。

卒業してから学んでおいてよかったと必ず思う時が来る。(ブライダルプロデュース科)

【林委員】

何を行うのも目的等をしっかり伝えてからでないと、生徒は何のために行っているものかが分からず、必要性を感じないのではないか。授業内はもちろん授業外でも理由付けが必要。(ブライダルプロデュース科)

【小室委員】

教育理念の浸透や退学者低減については、専門学校と連携して行いたい。(ブライダルプロデュース科)